

調査・研修報告書（議員用）

報告者：松本みのり ㊟

実施場所：三次市生涯学習センター3F	実施日：2021年10月20日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>市民の声をより政策に生かす議会運営のため、運営のあり方、基本の考えを学び、議員力、議会力を高める。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会は議決機関である前に、議事機関として、熟議、審議することが基本である。 ・ 政策の質を上げることが議会の役目。 ・ 予算の決定権は議会にある。 ・ 議会力とは政策を実現させる力。 ・ 積極的に調査・研究を行い、チェックだけではなく、政策提案を増やしていくべき。 ・ 議員定数削減が叫ばれるが、より多数、多様な人が集まって審議、熟議することは重要。 ・ 条例は作っただけでなく、住民のためにどれだけ生かせるかが鍵。 ・ 長による専決処分を避けるため、通年議会やオンライン委員会、オンライン本会議も議論が必要。 	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員力の強化は、個々の議員の日々の調査、研究、対話などの積み重ねによってなされるものである。一方、議会力は、様々な政策課題に対する議員間での熟議によって高められる部分が多い。現在の庄原市議会は、少数会派や無所属の議員の集まりとなっているため、定期的、意識的に、常任委員会とは別に、一つ一つのテーマに沿った全体での話し合いの場をつくり、議会力を高めていくことが求められる。 ・ 未来に向けたより良い議会をつくるために、過去の失敗部分にも目を向け、何がいけなかったのか、今後どうしたら良いかを新人議員も含めて、見直していくことも必要である。 ・ オンラインでの会議実施のための検討をより迅速に進め、新型コロナウイルスの次の流行だけでなく、あらゆる不測の事態に、議会として備えておかなければならない。 	